

加賀前田家の至宝(仮)

名家が誇る驚異のコレクションが60年ぶり大公開

<巻頭特集>前田育徳会創立百周年記念 特別展「百万石!加賀前田家」

インタビュー◎前田家19代当主 前田俊宣様

2026年4月14日より東京国立博物館で特別展「百万石!加賀前田家」が開催される。

加賀国金沢を本拠に越中・能登までの広範囲をおさめ“加賀百万石”と称された大名家である前田家。

大正15年(1926)には十六代当主の前田利為が前だけ伝来の文化財の保全を目的に

育徳財団(現在の前田育徳会)を設立。2026年は創立百年を迎える。

その節目の年に「加賀前田家伝来」そして旧蔵品を集めた大展覧会を開催今に続く加賀文化の美の真髄を探る。

[展覧会ガイド]◎東京国立博物館 福島修様など(学芸研究部列品管理課貸与特別観覧室室長)

5つの章で構成される本展覧会の見どころを展覧会の担当者にお聞きする。注目すべきポイントや裏話など。これ

を読めば展覧会がより楽しくなること間違いなし。※巻頭グラビアなどで出陳作品を紹介。

<特集1>加賀前田家の歴史

加賀前田家といえば初代の前田利家。豊臣政権の五大老の一人に名を連ねる戦国大名だ。

彼の活躍は言わずもがなだが、関ヶ原を乗り切った利長や、家康の警戒を掻い潜った利常、

幕末の動乱を凌いだ慶寧など「百万石の名に恥じぬ名君揃い。今に続く前田家の男たちの活躍をたどる。

<特集2>加賀前田家ゆかりの地へ

①[旧前田家本邸](東京都目黒区)

現在、前田育徳会がある目黒区駒場には元々前田家の公爵時代の土地であり、

駒場公園には邸宅が残されている。近代を乗り越えてきた前田家の暮らしぶりうかがう。

②[金沢](石川県)

言わずと知れた加賀百万石の中心地。金沢城、兼六園、尾山神社など

③[高岡](富山県)

二代目利長の隠居城として築かれた東の拠点。高岡古城、利長公墓所、瑞龍寺など

④[赤門](東京都文京区)

東京大学のシンボルで、元は加賀藩屋敷の門。

現在改修工事中なのでその様子を取材。

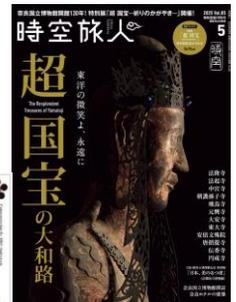
<コラム>

「豊臣兄弟!」前田利家役・大東俊介さんインタビュー、

豊臣家と前田家、

加賀・能登・越中の伝統工芸(加賀友禅、輪島塗、高岡銅器)、

利家とまつにみる夫婦円満の秘訣 など



※特集内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

スペース	掲載料金	サイズ
表4	1,800,000 (税込1,980,000)	269×200 (天地mm×左右mm)
表2(1P)	1,500,000 (税込1,650,000)	285×210 (天地mm×左右mm)
表3	1,400,000 (税込1,540,000)	285×210 (天地mm×左右mm)
目次対向	1,300,000 (税込1,430,000)	285×210 (天地mm×左右mm)
4C1P	1,100,000 (税込1,210,000)	285×210 (天地mm×左右mm)

- 発売日 : 2026年3月26日(木)
- 発行形態 : 中綴じ/右開き
- 判型 : 120Pフルカラー、A4変型
- 定価 : 1280円(税込)
- 発行発売 : 株式会社三栄
- オーダー : 2026年3月5日(木)
- 校了 : 2026年3月12日(木)

全国書店及びコンビニで発売

【お問合せ】株式会社三栄 第二営業企画局 Mail : koukoku@san-ei-corp.co.jp

~この企画に関するより詳しい内容・不明点は各担当者にご連絡下さい。~